

第17回 静岡市新型コロナウイルス感染症対策本部会議

日時 令和3年9月29日（水）
午後4時30分から午後5時まで
会場 静岡庁舎 新館8階 市長公室 ほか

次 第

1. 開 会

2. 【報告事項】
 - 市内の感染状況等について . . .【資料1】
 - ワクチンの接種状況について . . .【資料2】

3. 【報告事項】
 - 新型コロナウイルス感染拡大防止集中対策事業について . . .【資料3】

4. 【今後の対応について】
 - 地域消費促進策 . . .【資料4】

5. 【今後の対応への考え方】
 - 本部長発言

6. 閉 会

第17回 静岡市新型コロナウイルス感染症対策本部会議

日 時：令和3年9月29日（水）午後4時30分から午後5時まで

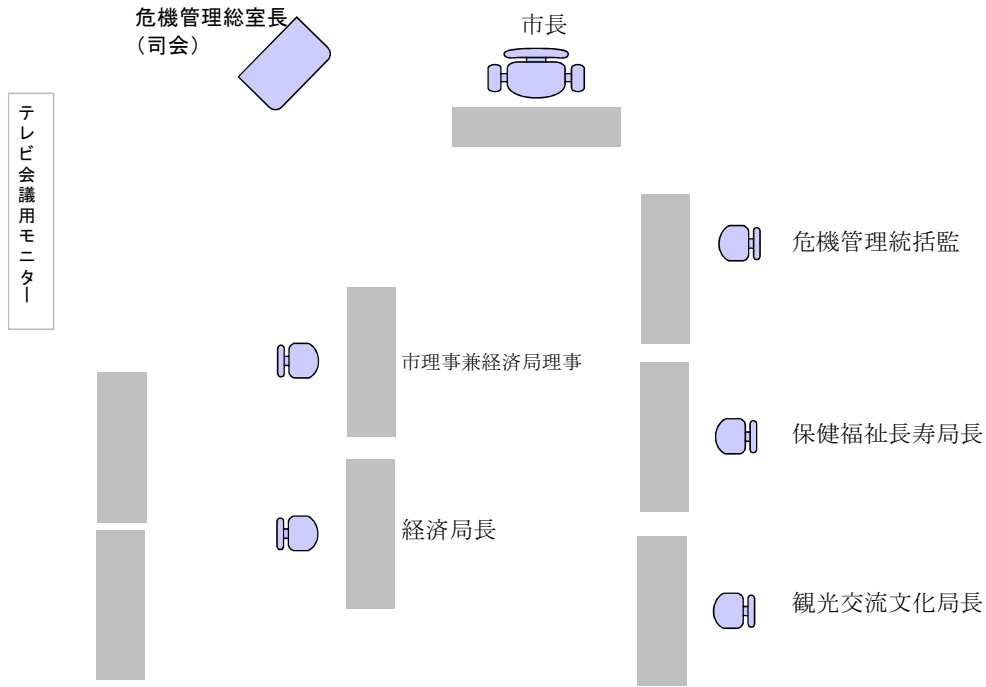
場 所：静岡庁舎新館 8階 市長公室…………①

各庁舎 自席…………②

出席者

1	本部長	市長	田辺 信宏	①
2	副本部長	副市長	大長 義之	②
3	副本部長	副市長	本田 武志	②
4	本部員	危機管理統括監	梶山 知	①
5	本部員	教育長	赤堀 文宣	②
6	本部員	市理事	吉井 博昭	②
7	本部員	市理事	川崎 豊	①
8	本部員	連携調整監	大村 明弘	②
9	本部員	総務局長	渡辺 裕一	②
10	本部員	企画局長	松浦 高之	②
11	本部員	財政局長	大石 貴生	②
12	本部員	市民局長	秋山 健	②
13	本部員	葵区区長	前田 誠彦	②
14	本部員	駿河区長	田中 朗	②
15	本部員	清水区長	堀池 明	②
16	本部員	観光交流文化局長	望月 哲也	①
17	本部員	環境局長	藪崎 徹	②
18	本部員	保健福祉長寿局長	杉山 友章	①
19	本部員	保健衛生医療統括監	長谷川 誠	②
20	本部員	保健所統括監	松田 仁之	②
21	本部員	子ども未来局長	青野 志能生	②
22	本部員	経済局長	加納 弘敏	①
23	本部員	都市局長	宮原 晃樹	②
24	本部員	建設局長	海野 強	②
25	本部員	会計管理者	丸岡 浩三	②
26	本部員	消防長	小長井 善文	②
27	本部員	上下水道局長	服部 憲文	②
28	本部員	教育局長	青嶋 浩義	②
29	本部員	議会事務局長	森井 聡	②
30	オブザーバー	選挙管理委員会事務局長	青木 陽一郎	②
31	オブザーバー	人事委員会事務局長	梶山 雅代	②
32	オブザーバー	監査委員事務局長	高田 和昌	②
33	オブザーバー	農業委員会事務局長	増田 雅之	②

第17回 静岡市新型コロナウイルス感染症対策本部会議 座席表
 日 時：令和3年9月29日（水） 午後4時30分から午後5時まで
 会場：静岡庁舎 新館8階 市長公室ほか



出入口

報道機関用スペース
 記者10名程度、テレビカメラ(三脚含む)
 (静岡市YouTubeチャンネルでライブ配信いたします。)

《自席（個室）》	
大長副市長 本田副市長 教育長 市理事兼総務局理事 連携調整監 総務局長 企画局長 財政局長 市民局長 葵区長 駿河区長 清水区長 環境局長 保健衛生医療統括監	保健所統括監 (27) 子ども未来局長 都市局 建設局 会計管理者 消防長 上下水道局長 教育局長 議会事務局長 (オブザーバー) 選挙管理委員会事務局 人事委員会事務局 監査委員事務局 農業委員会事務局

令和3年9月29日

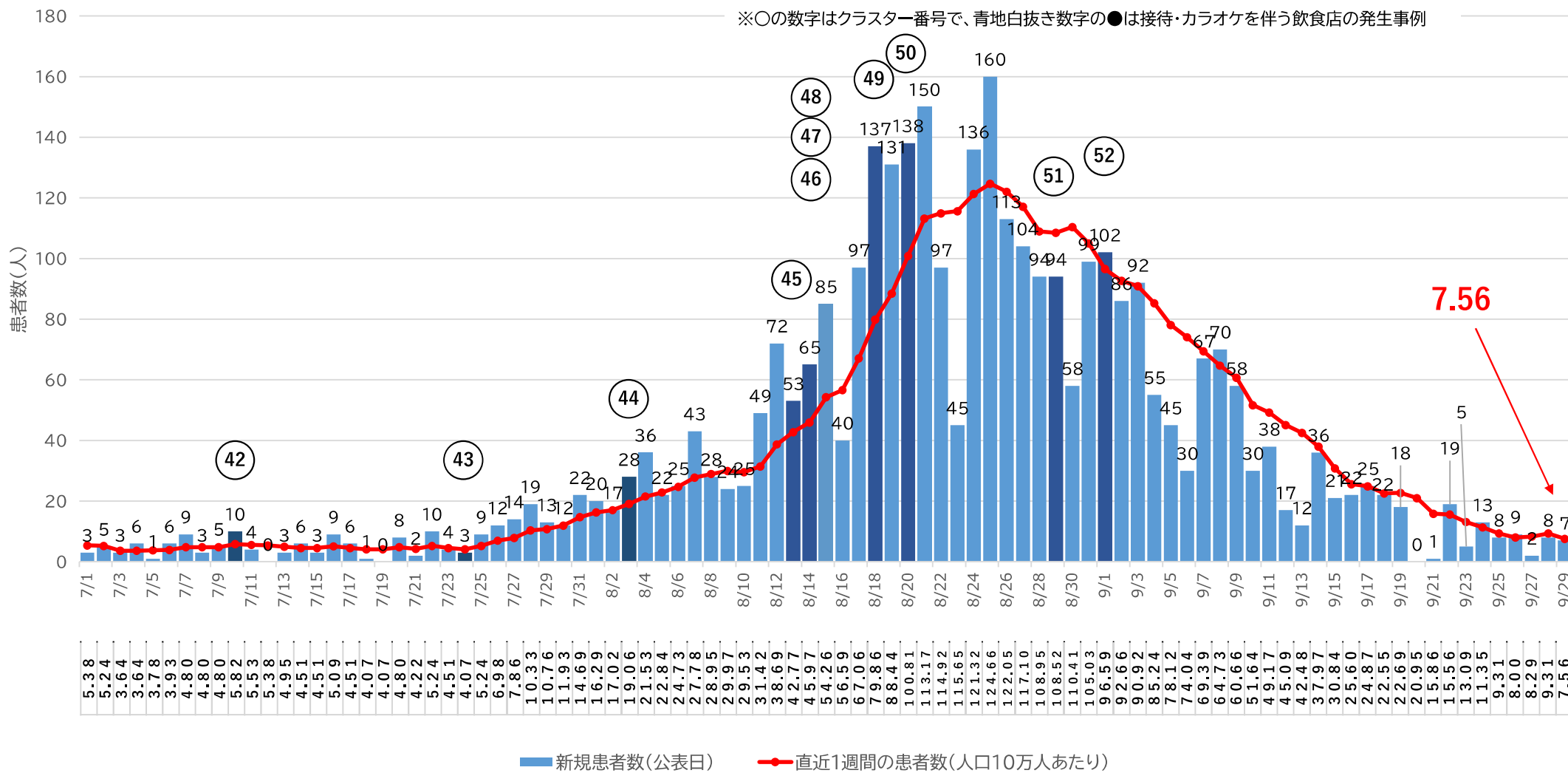
第17回静岡市新型コロナウイルス感染症
対策本部会議



静岡市

2021年9月29日

新型コロナウイルス感染症患者の発生状況



感染状況のステージ判断のための指標

2021年9月29日

	医療提供体制等の負荷		②10万人あたり 療養者数 (※)	監視体制	感染の状況		
	①病床のひっ迫具合			③PCR 陽性率	④10万人あたり 新規報告数	⑤直近一週間と 先週一週間の 比較	⑥感染経路 不明割合
	病床全体	うち重症者用 病床					
静岡市	県中部 11.5%	県中部 13.6%	10.91	3.4%	7.56	0.49	33.3%
			入院 24	陽性者 64	陽性者 52	先週 107	合計 ※ 60
			ホテル療養 15	検査数 1,878		9/16 ~ 9/22	不明 20
			自宅療養 36	うち医療機関 1,772		直近 52	
9/28	9/28	9/27	9/21 ~ 9/27	9/23 ~ 9/29	9/23 ~ 9/29	9/22 ~ 9/28	
ステージ3 の指標	20%以上	20%以上	20人以上	5%以上	15人以上		50%以上
ステージ4 の指標	50%以上	50%以上	30人以上	10%以上	25人以上		50%以上

(参考)

県東部	8.0%	県東部	14.3%
県中部	11.5%	県中部	13.6%
県西部	11.3%	県西部	9.1%
県全体	10.5%	県全体	11.3%

※確認中は除く。

※毎週月曜日～金曜日に更新

新型コロナウイルスワクチンの接種状況について

1 新型コロナウイルスワクチン接種に係る基礎データ

(1) ワクチン接種者数と接種率

9月27日 時点

区分	対象者数(人)	1回目		2回目	
		接種者数(人)	接種率(%)	接種者数(人)	接種率(%)
65歳以上	211,272	187,350	88.68	183,733	86.97
60-64歳	41,212	32,210	78.16	29,107	70.63
50-59歳	94,324	60,034	63.65	45,745	48.50
40-49歳	97,906	34,740	35.48	23,689	24.20
30-39歳	73,583	22,665	30.80	14,540	19.76
20-29歳	66,615	22,602	33.93	13,294	19.96
12-19歳	47,816	9,520	19.91	3,838	8.03
接種対象者合計	632,728	369,121	58.34	313,946	49.62
11歳以下	61,568	—	—	—	—
静岡市人口合計	694,296	369,121	53.16	313,946	45.22

※対象者数=令和3年1月1日住民基本台帳年齢階級別人口

※接種者数=VRS(ワクチン接種記録システム)への入力数値

【参考】

9月27日 時点

国と静岡県の状況 (政府CIOポータルより)		1回目	2回目
		接種率(%)	接種率(%)
国	65歳以上	90.37	89.05
	全人口	62.61	52.24
静岡県	65歳以上	90.94	89.36
	全人口	62.55	50.50

第4クールにおける主な取組

1. 前倒し接種
通常の接種とは別枠にて、「静岡モディ」で先行接種を実施(9/8~10/19)

① 妊婦とその同居の方
約1,800人

② 受験生の方
約2,800人

※②は、想定を上回る接種希望があったため、9/29~開設の「ツインメッセ静岡」にて、さらに予約枠を創設

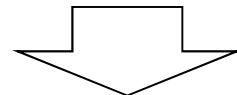
約3,900人

2. 予約枠の追加
当初の計画を超える多くの予約を承ったことから、医療機関の協力のもとで、予約枠を追加

約1.3万人分

⇒ 第4クール全体で
約13.6万人が接種

こうした取組を通じて、一日でも早い接種促進に努めた結果



これまで接種済みの方や、職域接種で接種された方を合わせ、11月7日時点で

接種者 約54万人

接種率 約85%

に到達する見込み

新型コロナウイルス感染拡大防止集中対策事業について

資料 3

【目的】

市民や事業者人流の抑制、要請内容の遵守を積極的に呼びかけ、全市民の**感染防止に対する意識の向上と感染予防行動につなげる**ことで、感染者数の抑制と医療の逼迫状況を回復・改善させる。

①重点地域（職員巡回：不要不急の外出自粛等の声かけ、啓発品のマスク配布、時短営業等の確認）

**実績：延べ411人が巡回(庁内22局等から動員)
声掛け1,900回 マスク配布999枚 要請に応じていない店舗を48店確認（27日時点）**

実施概要

期間：9月13日～30日(18日※を除く17日間) 全日20時～21時(1時間)

場所：葵区両替町・呉服町周辺など7エリア

体制：**延べ527人(庁内全局(24局)等から動員)**が巡回予定（消防局除く）

②その他のエリア（消防車両による巡回：不要不急の外出自粛等の広報・周知活動）

実績：消防局職員延べ906人、消防車両延べ238台が巡回（27日時点）

実施概要

期間：9月16日～30日(18日※を除く14日間) 全日20時～21時(1時間)

場所：消防管轄の23エリア

体制：**消防局職員延べ1,043人、消防車両延べ276台**が巡回予定

※18日は台風14号接近の恐れがあったため中止

- ◎職員が自ら声かけを行ったことで、市民から**感染拡大防止対策の協力を賛同**していただいた。
- ◎路上での飲酒、不要不急の外出など、リスクの高い行動に対する**抑止力**となった。
- ◎全庁から職員を動員し、広域的に事業を実施することで、市の取組みを**広く周知**することができた。

新型コロナウイルス感染拡大防止集中対策事業の見回りや声かけの様子



1.出発式の様子(13日)



2.市長による見回り
(13日、両替町)



3.職員による見回り①(青葉公園)



4.職員による見回り②(日本平)



5.消防車両による広報



6.配布したマスク

今後の地域消費促進策

- 「くらし」を守るための経済対策として、引き続き消費者や商業者に感染対策の徹底を呼びかけながら、まずは身近な買い回りを促し、地域消費を喚起していく。
- そのために、これまで進めてきた各事業の実施時期の延長や時期の見直しなどの調整を行い、感染状況を見極めつつ即時に実施できるよう準備を進めていく。

